

スペース

内装材を循環リサイクル

テナント退店時の廃棄物や残地物

商業施設をはじめとした多彩な空間づくりを行うスペース（本社・東京・中央、佐々木靖浩社長）は、商業施設のテナント退店に伴い、残置・廃棄される内装材の循環サイクルを構築し、環境負荷低減に貢献する方針を明らかにし、第一弾として、ショッピングモール「モレラ岐阜」（岐阜県本巣市）において、退店したテナントの壁面装飾や棚板などを加工し、新たな什器にアップサイクルした。それらを同施設の運営管

理会社であるプライムプレイス（本社・東京・中央）を通じて、このほどモレラ岐阜に設置した。

今回の取り組みは、同社のリプロダクト推進室の提案によるもので、モレラ岐阜のリニューアル（2024年春）に伴い退店した、複数テナントの残置物を通称「リプロ什器」にアップサイクルした。また同社の自社工場（愛知県大山市）で、テナントから回収した壁面装飾や棚板などを、プランターカバーとサ

インスタンドに加工し、同施設の一階共用部に3セット設置し、これらの廃棄物の発生を抑えた空間づくりの提案で、同施設が掲げる「SDGsを体感できる商業施設へ」の実現を後押ししたという。リプロダクト推進室

は、企業理念の「商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します」に基づき、社員の提案で発足した部署で、「Re||見直す」と、「Product||我々のものづくり」から想起した名称。捨てない空間づくり」という考え方のもと、デ

サイクルの確立を目指していくとし、そのため今後は、回収先の幅を広げ、当社が手掛けるあらゆる空間に展開し、リプロが目指す「捨てない空間づくり」を推し進めることで、豊かな社会の実現に貢献していくという。



回収



制作



リプロ什器

内装材をリプロ什器に

イス・プレイ業界におけるスクラップアンドビルドの在り方を見直し、あるべき姿を探索している。

同社は今回の取り組みを皮切りに、残置・廃棄される内装材の循環